

埼玉と世界をつなぐ

Friendship News

No.145 / 2026年秋号

✈️ フレンドシップニュース



▲カラーターヒン（ミャンマーの家庭料理）

Contents

- 「埼玉発世界行き」奨学生壮行会・同窓会 現場レポート …P.2
- 令和8年度日本語教室ボランティア研修を開催しました！ …P.3
- 世界の国からこんにちは ～オーストラリア編～ …P.4
- 世界食べ物探検 ～ミャンマー・カラーターヒン編～ …P.5
- 「世界へのトビラ」外国人（外国出身）講師・日本人アドバイザー募集！
- 外国人総合相談センター埼玉からのお知らせ …P.6
- ホームステイ・ホームビジット ホストファミリー募集 …P.7
- JICA埼玉デスクからのお知らせ
- 賛助会員・クイックフォトスタジオのご案内 …裏表紙
- 各種案内



公益財団法人
埼玉県国際交流協会
Saitama International Association

「埼玉発世界行き」奨学生壮行会・同窓会 現場レポート



埼玉県から世界へはばたく志の高い若者を支援する「埼玉発世界行き」奨学金制度では、世界延べ40か国に留学や海外体験活動（※1）を予定している、高校生から30代までの136人を奨学生に決定しました。8月10日（月）、奨学生の壮行会と元奨学生の同窓会をさいたま市内で開催しました。



壮行会に先立ち、平成26年度奨学生の**中田瑞季さん**が講演を行いました。中田さんは、高校生の時に奨学生としてデンマークへの1年間の留学を経験し、日本の大学を卒業後、コロナ禍の苦難もありながら、中東のエミレーツ航空でキャビンアテンダントになる夢を叶えました。

現在は医師という新たな目標を見つけハンガリーで学ぶ中田さんからの「留学はゴールではなくスタート」というメッセージや、困難があっても前向きに努力を重ね、自ら進み道を切り開いていくその姿は、留学を控えた奨学生に勇気を与え、背中を押してくれるものでした。



壮行会は、奨学金制度に貴重なご寄附をいただいている企業・団体の方など多くの来賓を迎えて行い、大野知事からは、奨学生への激励のメッセージがありました。また、2025年度井口敬子記念奨学金学位コースの奨学生で、スウェーデンに留学した**岩川等さん**が、これから留学する後輩奨学生に向けて、留生活のアドバイスやメッセージを送りました。

次に、今年度奨学生の代表として、学位取得コースでイギリスに留学予定の**羽石幸太郎さん**ら3名が、留学に向けた決意表明をしました。そのほか、奨学生が留学期間中を任期として委嘱される「埼玉親善大使」（※2）の委嘱状授与やテーブルごとの記念撮影も行われました。

会場では、同じ国に留学する奨学生同士で情報交換をしながら交流を深めている様子や、帰国した奨学生が自身のコースの寄附者に対し、留学の成果や感謝の気持ちを伝える姿もありました。

今年度は、冬頃に奨学生がオンラインで交流できる新たなイベントの開催も予定しています。奨学生の皆さん、お楽しみに！

（※1）海外体験活動：語学学校への留学、海外インターンシップへの参加、海外ボランティアプログラムへの参加など

（※2）留学などで海外に赴く方などに、埼玉県と世界の国々との懸け橋として友好交流の推進に協力いただくことを目的に県が委嘱するもの。

2026年度「埼玉発世界行き」奨学金 高校生事前研修を開催



7月30日（木）に、奨学生のうち高校生を対象とした事前研修を実施しました。様々な学校から集まった高校生たちは、留学するという共通点を持っていることからすぐに仲を深め、グループワークにも活発に取り組んでいました。自身の留学計画をブラッシュアップするためのヒントを得たり、埼玉親善大使として埼玉県の魅力を発信するためのアイデアを出し合ったりと、1日を通して自身の「留学」と深く向き合う時間となりました。

これをきっかけに奨学生同士で繋がりを持ってもらうとともに、今回の留学の経験が、皆さんの未来を輝かせる貴重なものとなることを祈っています。



「埼玉発世界行き」奨学金とは？

海外留学を目指す、埼玉県にゆかりのある志の高い若者を対象とした給付型の奨学金制度です。

埼玉県が設置した基金を活用した「**一般奨学金**」および、企業・団体・篤志家の皆様がスポンサーである「**冠奨学金**」により、これまでに約2,600人の若者がそれぞれの夢を持って海外へ飛び立っています。海外の大学等に進学する方が対象のコース、日本の大学等に在籍している方が一定期間の留学や海外体験活動を実施する場合に応募いただけるコースなど、様々なコースがあります。詳しくは、グローバル人材育成センター埼玉のホームページをご覧ください（本誌発行時点では、既に募集を終了した2026年度奨学金の内容を参考に掲載しています。来年度の募集内容については、未定です。詳細がわかり次第お知らせします。）。

この奨学金の原資となる埼玉グローバル人材活躍基金へのご寄附や、冠奨学金の設置については、随時ご相談を承っております。ご関心のある企業・団体・個人の方は、ぜひお問い合わせください。

経験者向け講座

令和8年7月4日（土）10：00～12：30
オンライン開催

「埼玉県の日本語教室活動の今とこれから
～制度の変化と県の取組を知り、ボランティア活動を考
える～」

主な内容：

- ①新たに始まる育成就労制度 日本語教室への影響とは
講師 | 小倉越子氏（登録支援機関小倉越子社会保険労務
士事務所代表/特定非営利活動法人外国人在留支援コンソ
シアム監事）
- ②埼玉県「地域日本語教育プログラム」とは ～プログ
ラムを活用した公的日本語教室の取組について～
紹介 | 埼玉県国際課、埼玉県国際交流協会、埼玉県地域
日本語教育コーディネーター松尾恭子氏
事例紹介 | 三郷市国際交流協会

参加者149名



課題別講座

令和8年8月1日（土）13：00～16：00
対面（さいたま市産業文化センター）&オンライン開催

主な内容：

- ①講義：外国にルーツをもつこどもの学びを支える
～本来の力を引き出し、ことばの力を育てる～
講師 | 小島祥美氏（東京外国語大学教授/多言語多文
化共生センター長）
- ②取組紹介：埼玉県教育局の取組 義務教育指導課/高校
教育指導課
- ③グループワーク

会場参加者 58名
オンライン参加者 86名



▲文部科学省発行、通称「ことばの
力のものさし」についても解説いた
だきました

▼小島氏による講義の様子



令和8年度日本語教室ボランティア研修を開催しました!

埼玉県における生活者向けの地域日本語教育は、長年地域のボランティアによる自発的な活動により支えられてきました。地域の日本語教室は、日本語を学ぶだけでなく、人と人とのつながりを育む大切な交流の場となっています。県内には、日本語教室を運営している団体が約139団体（令和7年度時点）あり、その多くがボランティア団体です。

当協会では県の委託を受け、新たなボランティアの育成や発掘、既に活動されているボランティアのスキルアップを目指すために、日本語ボランティア向けの研修を実施しています。今年度は、入門講座・経験者向け講座・課題別講座を計4回実施しました。

「～日本語でつながろう!地域の日本語教室活動、はじめの一步～」

第一回入門講座

令和8年8月23日（日）13：00～16：00
対面（ウェスタ川越）&オンライン開催
★埼玉県、川越市、(公財)埼玉県国際交流協会の三者共催

主な内容：

- ①日本語教室ってどんなところ？
・埼玉県の地域日本語教育のあゆみ
講師 | 埼玉県地域日本語教育コーディネーター松尾恭子氏
・日本語教室・日本語ボランティアの役割
講師 | 埼玉県地域日本語教育コーディネーター芳賀洋子氏
- ②県内の日本語教室を紹介（ブース形式）
9団体の日本語教室の方々に活動を紹介いただきました

▼インド出身の外国人住民ゲスト・
マラティ氏の体験談の様子



▲日本語教室活動紹介の様子

第二回入門講座-実践編-

令和8年9月5日（土）13：00～16：00
対面（大宮・ソニックシティ市民ホール）&オンライン開催
★埼玉県、(公財)埼玉県国際交流協会、(公財)埼玉県産業文化センターの
三者共催

主な内容：

- ①講義：多文化共生を育むコミュニケーションのコツ
- ②体験：やさしい日本語を使って、実際に外国出身の
方々と交流しよう！
講師 | 佐野香織氏（武蔵野大学 グローバル学部日本語コ
ミュニケーション学科教授）
- ③県内の日本語教室を紹介（ブース形式）
8団体の日本語教室の方々に活動を紹介
いただきました 佐野氏による講義の様子▶

「埼玉のすきなところ」について、やさ
しい日本語で外国人住民の方々と
楽しくお話しする様子▼

会場参加者 46名
オンライン参加者 45名



ご参加いただいたみなさま、
ご協力いただいた日本語教室のみなさま、
外国人住民ゲストのみなさま、
ありがとうございました！
ありがとうございます！
本研修での学びや実践のヒントが、
今後の日本語教室活動の充実につながり、
地域における多文化共生の推進への一歩と
なることを願っています。

世界の国からこんにちは

オーストラリア編



「暮らす」目線で見ると知る海外。埼玉県にゆかりがあり、海外でご活躍されている方から、その国のことを紹介いただく本シリーズ。

今回は、2025年度はばたけ！女性応援奨学金長期コース奨学生として、オーストラリア国立大学に留学していた秦 あおいさん（右写真）にお話を伺いました。



自己紹介 ～秦 あおいさん～

私は東京大学の交換留学制度を利用し、キャンベラにあるオーストラリア国立大学に1年間留学しました。留学先では、自分の専門分野以外にも、国際関係やグローバルな環境課題など、海外で、異なる視点から学ぶ意義が大きいと考えた科目を中心に履修しました。

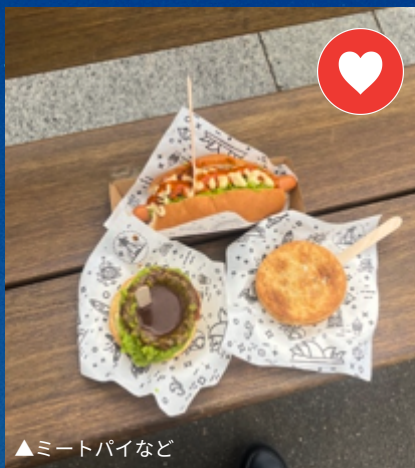
留学前はオーストラリアに対して特別強い思い入れがあったわけではないのですが、1年間で自分にとって大好きで特別な国になりました。本記事ではそんなオーストラリアについて紹介します。



懐の広い国、オーストラリア

文化

先住民であるアボリジナル・ピープルには非常に長い歴史と独自の文化がある一方、現在のオーストラリア社会は、イギリスによる植民地化や、その後のさまざまな地域からの移民文化が重なって形作られています。オーストラリア連邦が成立したのも1901年と比較的最近のことで、単一のオーストラリア文化というのはなかなか見えにくいところがあります。排他的な歴史も持つ国ですが、現在ではMulticulturalismそのものが、オーストラリアらしさであり、魅力になっていると感じました。



▲ミートパイなど

食

文化の話とも繋がりますが、オーストラリアの名物として知られるミートパイやフィッシュ&チップスなどは、旧宗主国であるイギリスにルーツを持つものが多いです。しかし街に出てみると、中華、インド料理、イタリアン、フレンチなど、世界各地の料理を扱うレストランが並んでいるのが目につきます。

特にアジア料理は、外国料理というより、日常の選択肢の一つとしてすっかり馴染んでいるように感じました。そのため1年間滞在しても、日本食が恋しくなるということはあまりありませんでした。

▼アボリジナルピープルにとって神聖な地であるウルルを訪れました

▲ドドマから車で約5時間、出張で訪れたアボリジナル



異なる文化、言語、バックグラウンドを持つ人がいることが特別なことではない。そんな「懐の広い」環境で1年間暮らしたことで、私自身も「自分と違う人がいること」を以前より自然に受け入れられるようになった気がします。

人々

フレンドリーな人が多いのが印象的でした。渡航前は自分の英語力で友達ができるのか不安でしたが、特に寮などでは話しかけてくれる人が多く、入国した日の夜にはもう一緒にご飯を食べる友達ができていました。

また、移民や留学生も非常に多く、バックグラウンドが異なる相手や英語が流暢でない人に対して、全員が慣れて受け入れているという印象があります。差別がないとは言いきれませんが、少なくとも私は、留学生活の中で、アジア人であることを理由に差別されたと感じる瞬間は一度もありませんでした。



▲留学先の友人たち

世界食べ物探検

ミャンマーを探検しよう！



はじめまして、レレです！

今回はミャンマーの定番料理「カラーターヒン」を一緒に作っていきましょう♪ミャンマーの人々の日常と、カラーターヒンの素敵なストーリーもご紹介します！



今回の案内人

レレさん



材料

- ・丸鶏 1kg
- ・玉ねぎ 1個 (150g)
- ・にんにく 3かけ
- ・塩 小さじ1〜2
- ・ターメリック 小さじ1/2
- ・唐辛子粉 小さじ1/2〜1
- ・ナンブラー 小さじ2〜3
- ・鶏がらスープの素 小さじ2〜3
- ・油 小さじ6〜8
- ・ユウガオ 400g
- ・水 1L
- ・ミャンマー万能スパイス 小さじ1〜2
- ・コショウ 小さじ1〜2
- ・パクチー 1本
- ・のこぎりパクチー 3枚 (お好みで)

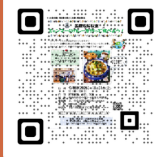
作り方

- ①丸鶏をぶつ切りに、玉ねぎとにんにくをみじん切りにする。
- ②①と塩、ターメリック、唐辛子粉、ナンブラー、鶏がらスープの素、油を鍋に入れて火にかけ、蓋をする。
- ③10分ほど経ったら蓋をあけ、5分混ぜる。
- ④ユウガオを大きめのサイズに切り、パクチーを2cm幅に刻んでおく。
- ⑤ユウガオと水を鍋に入れて煮込む。
- ⑥ミャンマー万能スパイス、コショウ、先ほど刻んだパクチー、お好みでのこぎりパクチーを入れて混ぜる。

レレさんからのお知らせ

10月、川越市で小学生の親子を対象にした、ミャンマーカレー作り教室を開催します！

詳細はこちら→



ミャンマー料理「カラーターヒン」を作ってみよう！

カラーターヒンはミャンマー定番料理です。ミャンマー語で「カラーター」は18歳〜30歳の結婚前の男性、「ヒン」はカレーという意味があります。その名前のとおり、男性も簡単に作れる料理です。

1990年代まで、ミャンマーでは自分たちの住む地域を守るために、各家庭にいる成人前でまだ結婚していない男性を集めてグループを作っていました。夜になるとそのグループは、5人体制で一晩中寝ずにその地域の見張り役として地域を守るのです。

この地域を守るお仕事を、ミャンマー語で「キンソエッテ」と言います。

彼らは夜の9時頃から集まり、地域の人々が寝静まるまでの間は、楽しくギターを弾いたり、好きな女性の名前を入れて歌を歌ったりしながら、その音色と賑やかさで地域の平穏を守ります。そして真夜中になると、皆が安心して朝を迎えられるよう、静かに見張り役に徹するのです。

見張りの最中も、やはりお腹は空くもの。特にキンソエッテに従事する男性たちは食べ盛りの年齢なので、少し眠くなってくると、自分たちでご飯を作って食べて夜を明かします。その時によく作る料理が、まさにこのカラーターヒンです。

男性たちが地域を守るように、地域の人々もキンソエッテに従事する男性たちを支えています。各家庭から感謝を込めて寄せられたお金によって、彼らは材料を蓄え、カラーターヒンを作り、元気な身体を保ちながら仕事に集中することができるのです。

キンソエッテに従事する男性たちは、自分の家からごはんを持ってきた、カラーターヒンの鍋の周りに座って皆でご飯を食べます。都会ではあまり見られなくなってきた伝統文化ですが、田舎ではまだ健在です。たとえば市場のない田舎だと、鶏を飼っている家庭から鶏をもらったり、ユウガオを育てている家庭からユウガオをもらったりなんてこともあります。

地域の人々に支えられてカラーターヒンが作られ、それを食べる男性たちによって地域が守られる。これがミャンマーの日常とカラーターヒンのストーリーです。



世界へのトビラ

外国人（外国出身）講師・日本人アドバイザー募集！

小学校・中学校・高校や公民館などで開催される国際理解教育プログラムで、ご活躍・ご協力いただける方を募集しております。

外国人（外国出身）講師

自分の国の文化や暮らしについて、子ども達や地域の方々に紹介をしてくださる「外国人（外国出身）講師」を募集しています。

遊び・クイズ・踊りなど、体験活動を取り入れながら、楽しく世界について知ることができる授業と一緒に作りますか？



▼研修会後の交流会の様子



研修会などを通じて、授業のコツやアイデアなど、他の講師やアドバイザーと情報交換もできます。初めは見学からスタートします。ぜひお気軽にご応募ください。

日本人アドバイザー

事前準備～実施当日までサポートしていただく「アドバイザー」を募集しています。

学校などの依頼団体と当日の実施内容の確認、外国人講師の取りまとめなどをしていただきます。国際理解教育の場を提供・サポートしつつ、ご自身も外国出身の方と交流することができます。国際理解や異文化交流にご関心のある方、大歓迎です！

(公財) 埼玉県国際交流協会 TEL: 048-833-2992 / E-mail: global-03@sia1.jp



外国人（外国出身）講師用
▼リーフレット



日本人アドバイザー用
▼リーフレット



FREE

相談
無料

こま

がい こく じん そう ごう そう だん

さいたま き

困ったときは、外国人総合相談センター埼玉に聞いてみよう！

がいこくご そうだん

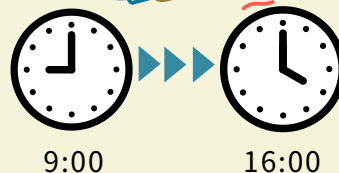
外国語で相談ができます。

せいかつ しごと ざいりゅうしかく ほうりつ なや そうだん
生活、仕事、在留資格、法律など 悩みを相談できます。

がっこう びょういん はな でんわ つうやく
学校や 病院で 話すとき、電話で 通訳をします。

げつ きん び
月よう日～金よう日 9:00～16:00 に やっています。

しゅくじつ がつ にち がつ にち やす
祝日と 12月29日～1月3日 は 休み です。



TEL (でんわ)

048-833-3296

ファックス (ふあっくす)

048-833-3291

メール (めーる)

sodan@sia1.jp

そうだん できる ことば

13の ことばで はなすことが できます

やさしいにほんご

English(英語)

Español(スペイン語)

中文(中国語)

Português(ポルトガル語)

한국・조선어(韓国・朝鮮語)

Tagalog(タガログ語)

ภาษาไทย(タイ語)

Tiếng việt(ベトナム語)

Bahasa Indonesia(インドネシア語)

नेपाली(ネパール語)

Русский(ロシア語)

український(ウクライナ語)

あたら
チラシが新しくなりました！

にほんご
チラシを やさしい日本語で新しく作りました！

たとえば こんなことで
こどもを学校に通わせたいが、
どこに相談したらいい？

ホームページ
はこちらから



がっこう かよ
こどもを学校に通わせたいが、
どこに相談したらいい？

しやくしょ てがみ とど
市役所から手紙が届いたが、
日本語が読めない

た しごと
その他、ビザのこと、仕事のこと、
家族のことも相談できます

ちいき す がいこく かた ともだち
地域にお住まいの外国の方やお友達にも
ぜひ紹介してください◎



彩の国 埼玉県 - 外国人のための相談窓口 -

無料 FREE

がいこくじん そうごう そうだん
外国人総合相談センター埼玉
Saitama Information & Support

こま 困っていること

わからぬこと

知りたいこと

げんご そうだん
13の言語で相談できます

英語 English / スペイン語 Español / 中国語 中文 / ポルトガル語 Português

韓国・朝鮮語 한국・조선어 / タガログ語 Tagalog / タイ語 ภาษาไทย

ベトナム語 Tiếng việt / インドネシア語 Bahasa Indonesia

ネパール語 नेपाली / ロシア語 Русский / ウクライナ語 український / やさしいにほんご

時間 9:00～16:00

げつようび

かようび

すいようび

もくようび

きんようび

月曜日

火曜日

水曜日

木曜日

金曜日

でんわ 電話

048-833-3296

たいめん 対面

〒330-0074

埼玉県さいたま市浦和区

北浦和5-6-5 浦和合同庁舎3階

(JR東武浦和線北浦和駅西口 徒歩約10分)

※土日・祝日、12月29日から1月3日は休みです

メール

sodan@sia1.jp

FAX

048-833-3291



ホームステイ・ホームビジット ホストファミリー募集

《受け入れ概要》

ホームステイ（1泊2日）

▶ご準備いただきたいこと：個室/寝具/お食事

ホームビジット（宿泊なし・日帰り）

▶ご準備いただきたいこと：お食事

《登録条件》

① 埼玉県内に在住

② ご家族2名以上（単身世帯でない家庭）

（※但し1人暮らしの方は、当日ご親戚やご友人などと一緒に複数名での受け入れができれば可能）

③ ゲストに1部屋ご提供いただけるご家庭（ホームステイのみ）

④ ご家族全員でゲストを歓迎して下さるご家庭



ご登録・詳細はこちら▼



留学や研修で来日している外国人の多くは、

寮やアパートで生活しており、日本の文化や日常生活に触れる機会が

限られていると言われています。当協会では、県内大学等の留学生や国際交流基金日本語国際センターの研修生を対象に、日本の家庭での生活や文化を体験していただく機会として、ホームステイ・ホームビジット事業を実施しています。

受け入れ家庭の皆さまにとっても、外国の文化に直接触れられる貴重な機会となり、日本にいながら自宅等で異文化交流を楽しんでいただけます。参加された方々からは、言葉の違いを楽しみながらコミュニケーションを取ったり、料理や遊びを紹介し合ったり、温かい交流が生まれたという声が寄せられています。また外国人参加者からは、「日本の家庭文化を知れた貴重な機会だった」などの感想が届いています。コミュニケーションは簡単な日本語で行うことが多いため、ホームステイボランティア登録に特別な外国語力は不要です。ホームステイ・ホームビジットの受け入れにご興味のある方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

お問合せ（公財）埼玉県国際交流協会
TEL: 048-833-2992 / E-mail: jigyo-01@sia1.jp



JICA埼玉デスクからのお知らせ

「世界と埼玉をつなぐJICA国際協力出前講座」



JICAでは、学校や地域団体などを対象に「国際協力出前講座」を実施しています。オンライン/対面でJICA海外協力隊経験者やJICA職員などが講師となり、世界の暮らしや文化、開発途上国が抱える課題、国際協力の現場について、実体験を交えて分かりやすくお伝えします。

海外での活動写真や動画などで現地のことを紹介しながら、SDGsや異文化理解などをテーマに学ぶことも魅力です。学校での総合的な学習（探究学習）や国際理解教育の授業、地域イベントなどで是非ご活用ください。

▼オンライン出前講座実施の様子（タンザニアとつないで）



▼協力隊経験者（インドネシア・環境教育）による講座



●お問合せ・お申込み●

▶ 講座の詳細、お申込みは、以下のJICA国際協力出前講座ホームページをご覧ください。右のQRコードからもご確認いただけます。

出前講座ホームページ リンク

<https://www.jica.go.jp/domestic/tokyo/activities/kaihatsu/demae/index.html>



賛助会員(個人・団体)募集のご案内

公益財団法人埼玉県国際交流協会では、協会の活動にご理解、ご協力をいただくため、賛助会員制度を設けています。趣旨にご賛同いただける方は、ぜひ、ご加入ください。

個人会員

埼玉県内在住・在勤の個人（年会費 2,000円（一口））

学生会員

埼玉県内在住・在学の学生・生徒（年会費 500円（一口））

団体会員

埼玉県内に所在する企業・団体（年会費 10,000円（一口））

NGO会員

埼玉県内に所在するNGO団体（年会費 3,000円（一口））

会員特典

1. 協会広報紙「フレンドシップニュース」の定期購読
2. 協会主催事業のご案内
3. 国際交流プラザ研修講座室の利用
4. 協会が運営するクイックフォトスタジオ(大宮・川越・川口・春日部)における各種証明写真撮影料金の割引
5. パレスホテル大宮でのお食事や埼玉県物産観光館「そびあ」でのお買い物の割引、その他指定店での海外旅行企画商品、ホテル利用料金などの割引

こちらからも確認いただけます▶



申込方法

本紙裏表紙の下部にございます、協会連絡先まで電話または電子メールでご連絡ください。申し込みに必要な資料をお送りします。



大宮・川越・川口・春日部 県内4か所
パスポートセンター隣接

5年・10年長く使うものだからこそ、専属スタッフによる信頼・安心の写真撮影！
詳細は二次元コードからご覧ください。



パスポート・マイナンバーカードの
各種証明写真はクイックフォトスタジオで！

令和8年4月1日から
一部店舗で営業時間に変更になりました

川越・川口・春日部出張所の営業時間
に変更になりました。

新営業時間

9:00~12:00
13:00~16:30

※12:00~13:00は昼休業とします。
※大宮支所の営業時間（9:00~16:30）は変更ありません。



Facebook



X(旧Twitter)



LINE

公式SNS更新中!

Friendship Newsでお伝えしきれない最新情報は、HPとSNSで随時更新しています。ぜひご覧ください！

フォロー・リポスト・シェア・いいね
お願いします！

フレンドシップニュース 2026年秋号 (2026年10月発行)

公益財団法人 埼玉県国際交流協会 Saitama International Association

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階

TEL: 048-833-2992 / FAX: 048-833-3291 / Eメール: sia@sia1.jp

WEB: <https://sia1.jp/> 本誌バックナンバーはこちらから▶



<https://sia1.jp/t-pu-f/>



コバトン
さいたまっち

